



自衛隊栃木地方協力本部

栃木地本の戦略的學校訪問～募集班長改め宇都宮所長の奮闘4～ 有言実行【瀧の原作戦発動】

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 古川 隆三 陸佐）は、12月3日（火）に栃木県宇都宮高校（通称「宇高」）への市ヶ谷研修を行った。研修にあたり、同校の卒業生である陸上幕僚監部監理部会計課（市ヶ谷）課長（木屋 陸佐）、同じく防衛研究所（市ヶ谷）政策研究部軍事戦略研究室主任研究官（橋本 防衛教官）、第302保安警務中隊（市ヶ谷）等の支援を受けた。

本研修については、実に計画から1年越しで実施にこぎつけた事業である。令和5年12月7日（木）に木屋 陸佐等と宇高を訪問して研修提案をし、調整を重ねることにより実現した。

研修当日は生徒21名、教諭1名に対して、自衛隊の概要説明、キャリアセミナー、職場見学（会計課、儀仗訓練、市ヶ谷記念館見学、体験喫食のプログラムで臨んだ。

まずは概要説明で自衛隊を知ってもらい、キャリアセミナーで卒業生が実際にどのような職種で入隊をし、これまで経験した業務について紹介をした。特に、木屋 陸佐の海外勤務時の経験談を公用パスポートを用いて紹介した際は、生徒達は熱心に聞き入っている様子であった。

職場見学では、当初会計課は執務室のみの見学予定であったが、監理部長の好意により監理部長室へも入室させてもらい、生徒達はその広さに驚くとともに、「このような部屋で働く立場になってみたい」との感想があった。儀仗隊の訓練は第302保安警務中隊所属の卒業生である田中 2尉の解説を交えて見学をして、生徒達は一糸乱れぬ動作を食いつくように見詰め、中には「動作を見ている間、呼吸を止めてしまいました」との感想があった。

引き続き市ヶ谷記念館見学で流暢な説明をしてくれる案内係員にスムーズに誘導をされ、腹の虫が鳴ったタイミングでの体験喫食に移った。将来の幹部自衛官の候補生予定ということで、喫食場所は幹部食堂を利用してもらった。周囲を市ヶ谷駐屯地で勤務している幹部自衛官に囲まれ最初は緊張の面持ちであったが、喫食が始まると当日のメニューの爆弾丼のお陰もあってか、笑顔が弾けていた。

全てのプログラムを終え、生徒達は満足げな顔で市ヶ谷駐屯地を後にして次の研修場所である都内の法律事務所へと向かっていった。

後日、参加した生徒から感想文をいただいたが、「自衛官は厳しそうないメージがあったが、笑顔で接してくれる方々を見て印象が変わった」とや「職業選択の幅が広がり、参加してよかった」との記述があり、また、引率の教諭からも「自衛隊の研修が一番よかったです」とのお話もあつたので、実施した成果を感じた。

今日の地本を取り巻く募集環境はより一層厳しさを増している。これは地本のみならず、将来的には自衛隊全体に関わる問題である。地本以外の機関や部隊等に勤務している方々も募集への当事者意識を持って頂き、ぜひ地本業務への協力・支援をお願いしたい。まずは、この記事が目印に留まった宇高から防大へ進んだ方については、勇気をもって栃木地本へ連絡をして頂きたい。陸・海・空自衛隊の種別を問わず、ともに「宇高卒業の防大生の激増」の目標達成に向け取り組んでいく。



卒業生のキャリアパスに熱心に聞き入る生徒達



参加者全員が初めての体験喫食



法廷として使用された大講堂見学



儀仗訓練を見学する側も全集中 ～無の呼吸～

専門学校とコラボ de 募集ポスター完成☆ さわやかなイメージで自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一 陸佐）は2月12日（水）、宇都宮市に所在する国際情報ビジネス専門学校（以下TBC学院）の協力を得てオリジナル自衛官募集ポスターを作成した。このポスターは、昨年13回目を迎えたJ・TBC絵画展（自衛隊をテーマにイラストの部、CGの部でTBC学院の生徒から作品を募った絵画展）において最優秀賞に選ばれたイラストを使用した作成された。イラストを作成した芝沼さんは「自衛隊のさわやかなイメージを『ブルースカイ』というタイトルで作成してみました」と笑顔で話していた。

栃木地本は「完成したポスターは、各事務所等をはじめ、県内の学校や施設等に配布される予定であり、今後も、地域の学校との連携を図り、信頼及び協力関係を強化していくとともに、各種募集広報活動に連携していく」としている。



完成した自衛官募集ポスター